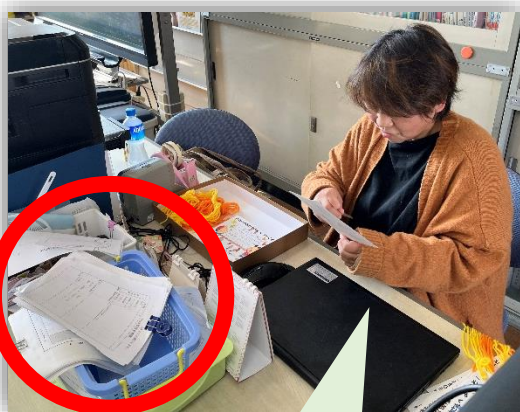


教師の負担軽減を図り、教師が児童生徒への指導や教材研究等により注力できるよう、配付物の準備や授業準備等をサポートするために配置されている**教員業務支援員との協働**についてご紹介します。

高川原小学校における教員業務支援員による支援

勤務時間は1日あたり2時間程度
※学校の「忙しさ」に応じて、柔軟に勤務形態を変更することが可能



「業務依頼書」または口頭で
教員が業務を依頼



私の子供が高川原小学校の卒業生で、子供の在学中から続けていた「読み聞かせのボランティア」をきっかけに、教員業務支援員として働くことを決めました。「効率的な作業の仕方」を考えたり、職員室に来た児童に声をかけたりすることができるのが本当に楽しい仕事です。また、先生とも仲良くさせていただいて、推し活の話題で盛り上がることもあります。授業で使用する小物の工作など、「先生がわざわざ時間をかけなくてもよいのでは？」と判断できる業務は何でも引き受けるので、先生には「先生にしかできない業務」に注力してほしいと思っています。

- 学習プリントや配付文書の印刷
- チラシや配布物の仕分け
- 授業・学校行事の写真撮影・保存
- ホームページの更新
- データ入力(新刊図書登録等)
- 掲示物の作成
- 児童への本の読み聞かせ
- 裁縫作業(ゼッケンの補修等)
- 新年度の準備
 - ・新入生用の名札づくり等
 - ・クラス替えに合わせて名簿の更新
- 授業時数の計算用ソフトの作成
- 一人一台端末ソフトウェアの更新作業補助
- ICT機器のトラブル対応補助

依頼が多い業務

前職のシステムエンジニアのキャリアを生かした業務

教員業務支援員の業務内容は「一律」ではない
⇒コミュニケーションを十分に取り、「協働」作業を！
⇒個々の「強み」や「経験」を生かせる業務を依頼！

【参考】文部科学省資料「教員業務支援員との協働の手引き」(令和5年12月)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00009.html

先生の声

- 業務負担が大幅に軽減され、非常に助かっています。
- 雑務が多く、猫の手も借りたい時に、とても頼りになる存在です。
- 作業をお願いして「浮いた時間」を、他の業務に回すことができます。

